


I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立むつ養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 ■日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	時間を守って給食を食べよう		
	単元(題材)の目標	時間内に給食を食べる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	小学	部	1、2 年 3 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	<ul style="list-style-type: none"> ・給食時間が過ぎても、食べ続けようとする。 ・早く食べ終わると遊びだす。 		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad		
	使用したアプリケーションの名称	ねずみタイマー		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 ■時間支援) <input type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	時間の概念がまだ備わっていない児童に対して、「あとどのくらい」や「終わり」を視覚的、聴覚的に支援できればと考え活用した。 <ul style="list-style-type: none"> ・残り時間の把握 ・終わりを知る 		
活用の状況と支援	<ul style="list-style-type: none"> ○活用場面 <ul style="list-style-type: none"> ・給食 ○行った支援 <ul style="list-style-type: none"> ・「ねずみが食べ終わったらごちそうさまをする。」ことを約束した。 ・児童が見える位置に ICT 機器を設置した。 ○児童の様子・変容 <ul style="list-style-type: none"> ・ねずみの動きで残り時間を把握できるため、タイマーに注目する様子が見られた。 ・タイマー音が鳴ると、おかず等が残っていても、ごちそうさまをすることができるようになってきた。 ▲画面に注目してしまい、動きが停滞してしまうことがあった。 ○今後の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・活用した結果、ねずみが食べ終わったら（タイマーが鳴ったら）「終わり」であるということは「○児童の様子・変容」から理解できてきたと考える。今後は着替えの場面など活用場を増やし「あとどのくらい」「時間内に完了する」の理解につなげたい。 			

